

総務厚生常任委員会 3月7日

都市計画税見直しの検討へ

都市計画税の今後の方向性について（中間報告）説明を受けた。

【現状】

都市計画事業（荒砥・鮎貝地区の下水道整備事業）や鮎貝土地区画整理事業はすでに完了。今後具体的事業の予定もなく、全町下水道化も進み、課税区域内外での税負担の公平性が課題。税は地方債償還金にのみ充当している。

【方向性】

令和7年度以降、充当額が税額を下回る見込みであり、課税の見直しを検討する。

【今後の課題】

①課税をしない場合、約3900万円の減収となることへの対応。
②見直しをする場合、条例改正等の手続きについて検討。

【今後の日程】

令和6年度中 最終報告とりまとめ、議会、都市計画審議会への説明、住民周知等

質疑

今後の事業予定は

委員 都市計画事業は下水道整備のみだったのか。他の事業にもかかわっていたのか。
町長 下水道導入の目的であった。貝生川や鮎貝地区の土地区画整理事業を行ってきた。

委員 今後都市計画事業予定の有無についての見極めはどうか。
町長 事業は当分ないものと認識している。約4千万円の税収をど



う埋め合わせしていくかが課題である。

不平等との意見

委員 荒砥地区では以前より不平等ではないかとの意見があるがいかがか。
副町長 行政経営改善委員会でも議論している。償還も間もなく終わるが、税収が減る分をどうしていくか検討している。

地域人材ベースキャンプの組織設立へ

地域人材ベースキャンプ設立事業について説明を受けた。

【組織設立について】

令和6年3月下旬に地域人材ベースキャンプの運営組織である「したらかマルチワーク事業協同組合」設立総会を開催する。組合員は17事業者になる見込み。

【マルチワーカーの募集について】

6月稼働に向け、2人のマルチワーカー雇用に向け取り組んでいる。令和5年10月に1週間の体験ツアーを実施し、4人が参加。令和6年4月にも実施予定。今後ウェブ説明会を開催予定。

【町の予算措置】

①特定地域づくり事業

推進交付金

303万5千円

②地域人材ベースキャンプ設立出捐金

300万円

③地域人材ベースキャンプ設立支援業務委託

1千万円

【今後のスケジュールについて】

3月 設立総会
4月 設立許可申請
5月 労働者派遣届出
6月 事業開始

質疑

国からの補助

委員 国からの補助は、計画実施にも使えるのか。
当局 使えるものと考えている。



動き出したベースキャンプ

委員 いずれ自分たちの利益で運営していくのか。
当局 制度が変わらない限りは、このまま支援していきたい。

その他
○第2期健康と福祉の里構想（町立病院）について
○白鷹中学校グラウンド排水対策について等、説明があった。